



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

アメダスができてから 50 年も経ったって本当？

■「アメダス」運用開始から今年で 50 年！

テレビのお天気コーナーなどでもよく耳にする「アメダス」。どのようなものか、ご存じですか？

アメダス (AMeDAS) とは、地域気象観測システム「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略です。雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、湿度の観測を自動的におこない、気象災害の防止・軽減に重要な役割を果たしています。福岡県内には福岡市をはじめ、飯塚市や太宰府市、大牟田市など 20 か所のアメダスが設置されています。観測しているデータや名前の由来はこれまでもはれるんマガジンでご紹介してきました(※)が、このアメダス、昭和 49 年 (1974 年) 11 月の運用開始から、今年で 50 年を迎えました！



アメダス八幡 (北九州市)

※はれるんマガジン 2019 年 2 月 22 日号：「アメダスは雨を測るから「雨だす」？ - アメダス命名にまつわる秘話 -」
はれるんマガジン 2023 年 11 月 7 日号：「アメダスって何をしていますのですか？」

■アメダスの歩み

アメダスは 1974 年 11 月 1 日に、全国 923 の雨量観測所により運用が始まりました。全国の観測所で自動的に観測したデータは、東京都千代田区のアメダスセンター (当時) に自動で収集され、品質管理・配信まで一括して行うことにより、リアルタイムで気象状況の把握や異常気象の監視ができるようになりました。以後、昭和 51 年 (1976 年) には気温、風向、風速、日照時間の観測が、昭和 54 年



アメダスセンターの様子 (昭和 50 年頃)

(1979年)には積雪の観測が、令和3年(2021年)からは湿度の観測が順次始まり、併せて観測所の数も拡充が進み、現在では、気象官署や特別地域気象観測所(旧測候所)も含め、全国に約1300ものアメダス観測所が設置されています。

■アメダスのデータはどこで見られるの？

アメダスから得られる観測データは10分毎に配信しており、気象庁ホームページで誰でも閲覧できます。また、各地の日最高気温などの統計データ、過去の観測データも公開しています。

最新の気象データ
(気象庁ホームページ)

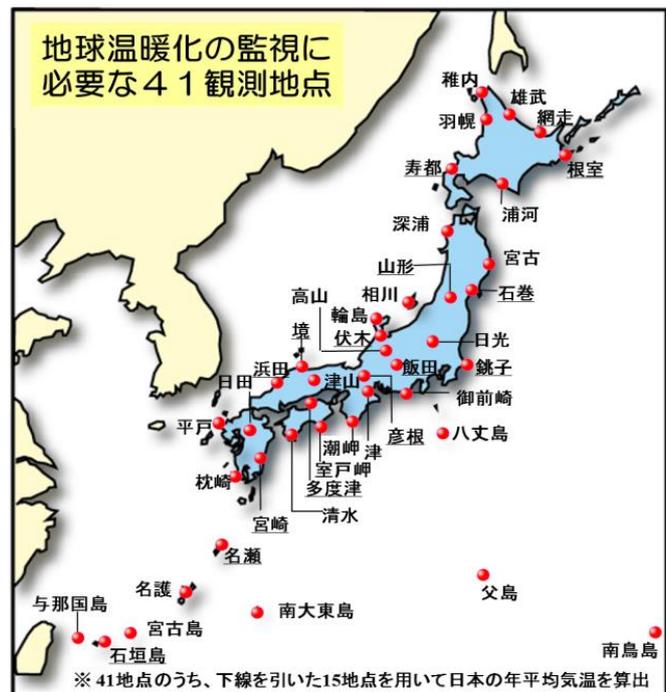


過去の気象データ
(気象庁ホームページ)



■特別なアメダス？-将来にわたり地球温暖化の監視に必要な観測所-

アメダスの中には41か所の特別な観測所があります。これらの観測所は日々の観測データを天気予報や警報等の発表に活用するだけでなく、長期間にわたり観測データを蓄積することにより、地球温暖化の監視にも重要な役割を果たしています。九州では、平戸(長崎県)、日田(大分県)、宮崎(宮崎県)、枕崎、名瀬(鹿児島県)の5か所の観測所が指定されています。地球温暖化の監視のためには、わずかな気温変化をとらえる必要があるため、観測所の周辺環境の影響を受けない正確な観測を行うことが重要です。このため、これらの観測所では、適切な観測環境維持に特に力を入れるとともに、周辺環境の変化を詳しく記録し、地球温暖化の監視を継続的に実施しています。



地球温暖化の監視に必要な41観測所

ご意見をお待ちしています

問合せ先
〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36
福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部
電話：092-725-3614
e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



2025年、気象業務は150周年を迎えます

次回の発行は2025年2月の予定です。